

議第 2 号

2020年度県立高等学校における学科改編等について

2020年度県立高等学校における学科改編等については、別紙のとおりとする。

平成31年4月22日提出

岐阜県教育委員会

教育長 安 福 正 寿

<根拠法令>

学校基本法

第3条 学校を設置しようとする者は、学校の種類に応じ、文部科学大臣の定める設備、編制その他に関する設置基準に従い、これを設置しなければならない

(別紙)

## 2020年度県立高等学校における学科改編等について

### 1 2020年度の学科改編等

#### <単位制の導入>

- 八百津高等学校を、単位制による全日制の課程普通科とする。
- 瑞浪高等学校を、単位制による全日制の課程普通科及び生活福祉科の併置校とする。
- 恵那高等学校を、単位制による全日制の課程普通科及び理数科の併置校とする。

#### <学科改編>

- 大垣養老高等学校において、農業に関する学科を、食品科学科、環境園芸科及び生産科学科から、動物科学科、食品科学科、園芸科学科及び環境科学科に改める。
- 大垣工業高等学校において、工業に関する学科を、機械科、電気科、電子科、情報技術科、建設工学科、電子機械科及び化学技術科から、機械工学科、電子機械工学科、電気工学科、電子工学科、情報技術工学科、建築工学科、土木工学科及び化学技術工学科に改める。
- 飛騨高山高等学校において、農業に関する学科を、生物生産科、環境科学科及び園芸科学科から、動物科学科、食品科学科、園芸科学科及び環境科学科に改める。

### 2 実施時期

- 実施時期は、平成32年4月1日とする。

## 2020年度 県立高等学校における学科改編等について

◆ 学科改編等の内容

## ① 単位制の導入

八百津高等学校

全日制課程 普通科 → 単位制による全日制課程 普通科

## &lt;学科改編の目的・方向性&gt;

- 生徒の進路希望に即した多様な教育課程を可能とする。
- デュアルシステムを継続するとともに、人道教育や防災リーダー養成などを行う地域研究、郷土研究に関する科目開設など、学校の特色がより明確となる教育課程を検討する。

瑞浪高等学校

全日制課程 普通科 → 単位制による全日制課程 普通科  
 全日制課程 生活産業科 → 単位制による全日制課程 生活産業科  
 (生活福祉科) (生活福祉科)

## &lt;学科改編の目的・方向性&gt;

- 生徒の進路希望に即した多様な教育課程を可能とする。
- 現在、実施している進路別教育課程に専門科目や学校設定科目を設置したり、他学科の開設科目を選択できるようにするなど、多様な科目選択を可能とする仕組みについて検討する。

恵那高等学校

全日制課程 普通科 → 単位制による全日制課程 普通科  
 全日制課程 理数科 → 単位制による全日制課程 理数科

## &lt;学科改編の目的・方向性&gt;

- 生徒のより高い進学希望に即した教育課程を可能とする。
- 地域の理解を深める科目や、実技を伴う教科の教員志望者に対応できる科目設置、普通科、理数科の枠を超えて一緒に履修する科目設置などを検討する。

② 専門学科の改編

大垣養老高等学校  
農業科

○学科の再編

3学科 → 2学科群 4学科

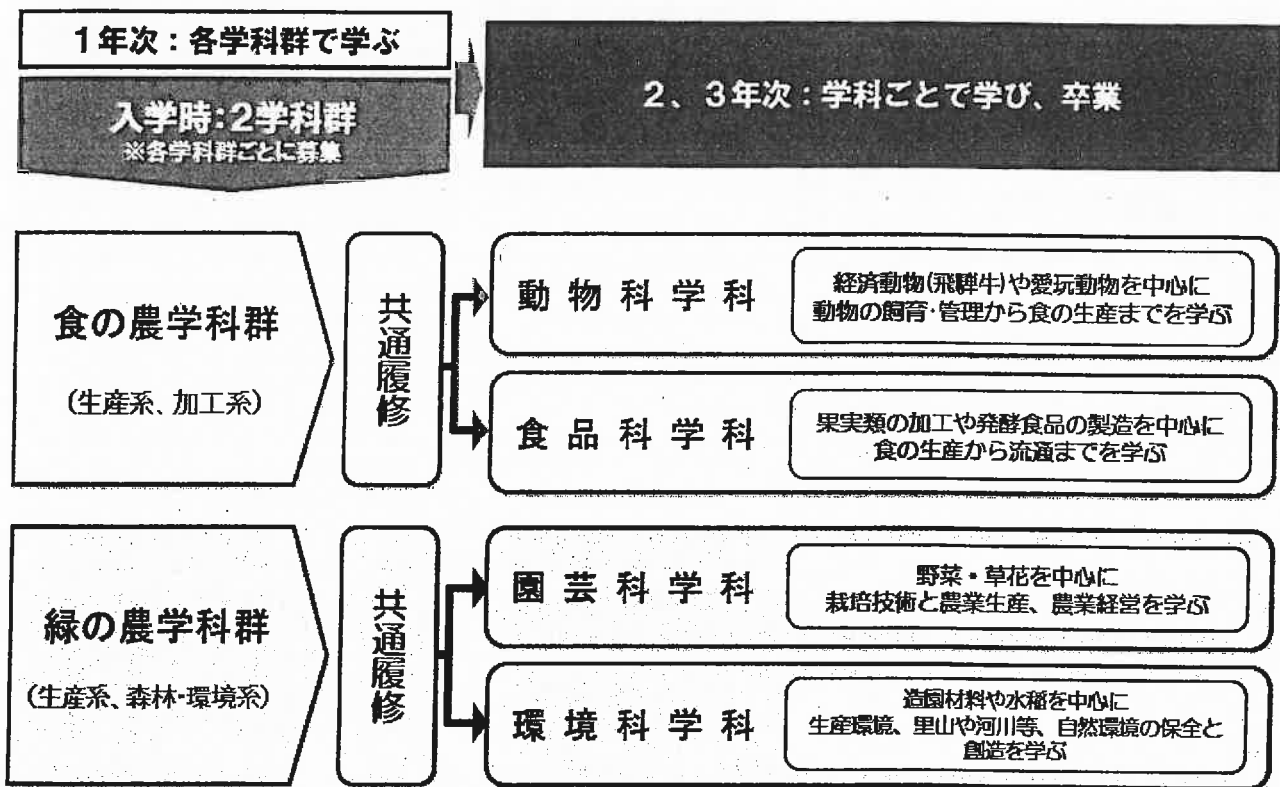
○学科群での募集

食の農学科群（生産系、加工系）、緑の農学科群（生産系、森林・環境系）

現在の農業科の学科編成

生産系 生産科学科 加工系 食品科学科 森林・環境系 環境園芸科

学科改編（農業科）



<学科改編の目的・方向性>

- 学びの領域と学習内容とのずれを解消し、地方産業教育審議会の答申による「学びの3領域」に基づく学科構成とする。
- 入学時は2学科群（食の農学科群、緑の農学科群）ごとの募集とし、学びを維持しつつ少子化に対応するとともに、適性に応じた学科選択を可能とする。
- 全県における学科群名称、小学科名称を統一する。

※ 学校全体の学科構成 農業科、総合学科

大垣工業高等学校

○学科の再編

7学科 → 3学科群7学科+1学科

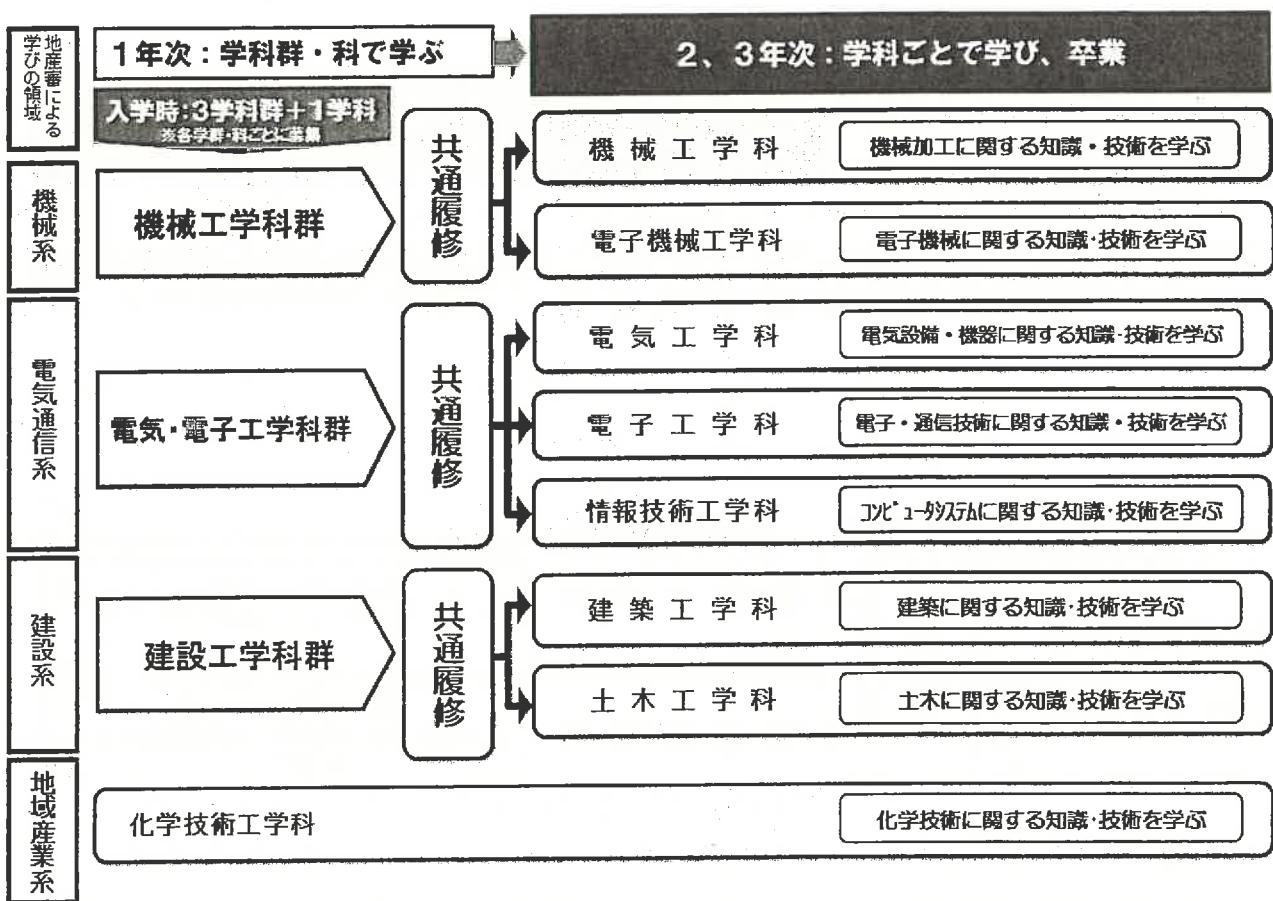
○学科群（+1学科）での募集

機械工学科群、電気・電子工学科群、建設工学科群、化学技術工学科

現在の工業科の学科編成

機械系	機械科、電子機械科	電気通信系	電気科、電子科、情報技術科
建設系	建設工学科	地域産業系	化学技術科

学科改編（工業科）



<学科改編の目的・方向性>

- 地方産業教育審議会の答申による「学びの4領域」をもとに再編成し、既存の7学科を8学科とする。
- 入学時は3学科群（機械工学科群、電気・電子工学科群、建設工学科群）+1学科での募集とし、学びを維持しつつ少子化に対応するとともに、適性に応じた学科選択を可能とする。
- 全県における学科群名称、小学科名称を統一する。

※ 学校全体の学科構成 工業科

飛騨高山高等学校  
農業科

○学科の再編

3学科 → 2学科群4学科

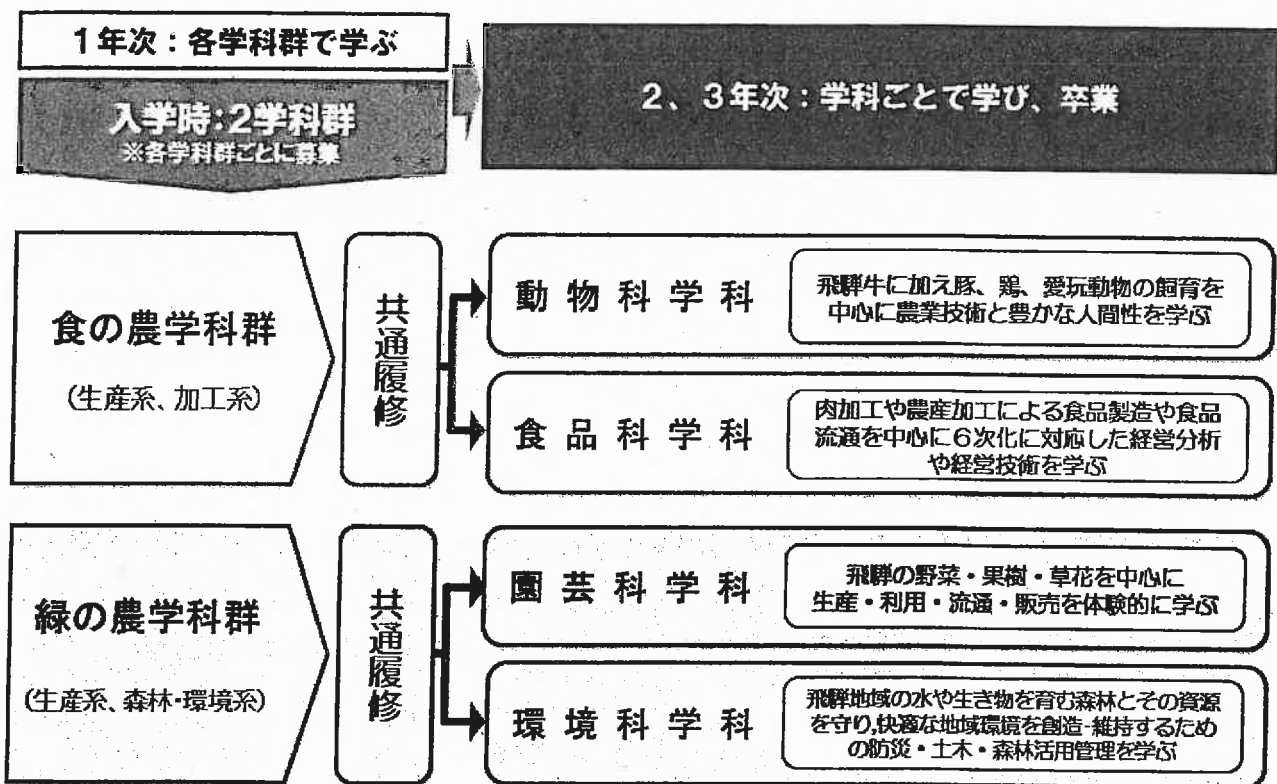
○学科群での募集

食の農学科群（生産系、加工系）、緑の農学科群（生産系、森林・環境系）

現在の農業科の学科編成

生産系 生物生産科、園芸科学科 加工系 なし 森林・環境系 環境科学科

学科改編（農業科）



<学科改編の目的・方向性>

- 学びの偏り（加工系分野の学科が未設置）を解消し、地方産業教育審議会の答申による「学びの3領域」に基づく学科構成とする。
- 入学時は2学科群（食の農学科群、緑の農学科群）ごとの募集とし、学びを維持しつつ少子化に対応するとともに、適性に応じた学科選択を可能とする。
- 全県における学科群名称、小学科名称を統一する。

※ 学校全体の学科構成 普通科、農業科、商業科、生活産業科

